

2019 年度 都立府中東高校 BOXING部

東京都高等学校新人戦の結果

ご報告が遅くなりました。東京都高等学校新人戦が11月16日、17日、24日の3日間で本校を会場に開催されました。男子選手はこの大会で優勝すると1月開催の関東選抜大会にAブロックで、準優勝するとBブロックでそれぞれ出場します。女子選手は優勝選手が関東選抜大会に出場します。

関東選抜大会に出場した女子は関東選抜大会で優勝、Aブロックで出場した男子選手は決勝に進出すると3月に石川県で開催される全国選抜大会に出場することとなります。Bブロックで出場する選手は優勝しても全国選抜大会には出場できません。本校からの新人戦の出場選手と結果は以下の通りです。

●男子

F級	萩原	湧太（2年）	初戦	対富岡奨（駿台学園高校定時制）WP 負（0-3）
F級	堀江	堯斗（1年）	初戦	対西原航樹（駿台学園高校）WP 負（1-2）
F級	山中	千聖（2年）	初戦	対秋澤昇（駿台学園高校）RSC 負（3R 1'11"）
L級	吉野	颯太（2年）	初戦	対三浦武蔵（駿台学園高校）RSC 負（1R 0'33"）
M級	芦川	樹（2年）	決勝	対加藤大河（駿台学園高校）WP 負（0-3）
				関東選抜大会 Bブロック 出場決定

★女子

B級	星野佳亜奈（2年）	認定	関東選抜大会 出場
----	-----------	----	-----------

東京都の名門「駿台学園高等学校」の壁

全員が東京都の名門「駿台学園」の選手に敗退。名門駿台の壁は高く、乗り越えることができませんでした。しかし内容としては勝ってもおかしくない試合や、それほど内容に差がない試合もあり、部員の成長がものすごく見られただけに、顧問としては大変悔しさの残る（選手たちはもっと悔しかったでしょうが...）大会となりました。

フライ級1年堀江は一度勝ち名乗りが上がりましたが、本部の手違いで勝敗が入れ替わりしました。1Rと3Rは取り、勝ったかなと思った内容でしたが、ポイントを取り切れませんでした。

フライ級2年山中は1R目を取りましたが、2R目にポイントを取り返され、最後はRSC負け。大振りが目立ったところにも敗因はありますが、1R目を取っていただけに惜しい内容でもありました。

フライ級2年萩原は身長、リーチに勝る富岡選手に終始ペースを握られポイント負け。内容は負けでしたが、倒されるような危ないシーンもなく健闘しました。

ミドル級2年芦川は結果としては3Rすべて取られてのポイント負けでしたが、内容は接戦でした。もう少し目に出て先手を取っていたら、勝っていたと思いますが、内容は接戦でしたが、結果の通り各ラウンド加藤選手が少しポイントで勝る内容でした。

東京都連盟審判員、各先生方の声…励みになります。

練習しているのがよくわかる試合内容だった。

府中東の成長を一番感じた大会だった。

勝っていてもおかしくない試合だった。

以上のような、ありがたいお言葉をたくさんいただきました。駿台学園は全国屈指の強豪校で経験者も多く勝つのは難しい。でも本校は負けても仕方がない、ではなく、打倒駿台です。駿台学園も選手も何もしていなくて強いわけではありません。やるべき練習をしているから強い。今大会は接戦も、勝ってもおかしくない試合もありました。ここまで頑張ってきた、ど素人の現部員。来年度勝たせるように頑張らせるのみです。部員も期待に応える練習をしてくれるはずです。駿台の選手は府中東の選手なんかに負けない、本校は打倒駿台。駿台の選手とともに切磋琢磨、です。